

Fresh Talk

～ フレッシュトーク ～



雄武町役場 住民生活課 山田 楽人さん

「町民の方の意見を真摯に聞いていきたいです。」そう話してくれたのは、今年で役場職員として3年目となる山田楽人さん。

出身は訓子府町で、北見緑陵高校を卒業後、雄武町に採用となり住民生活課戸籍住民係として活躍中。

現在、担当しているのは、転入転出や出生など、戸籍に関する手続きや住民登録、住民票の発行に係る事務で「仕事を始めた当初は、戸籍を見たことがなく、記載されている情報を探したり、古い戸籍を読み解くのに苦労しましたが、お客さまから『ありがとう』とお礼を言われたときは、この仕事をやっていて良かったなと感じます。」とやりがいを感じ

じているようです。

休日の過ごし方について聞いてみると「小学校の頃からやっていたフットサルを、今でも続けており、同僚や地域の人と一緒にスポーツセンターで汗を流したり、オンラインゲームで楽しんでます。コロナが落ち着いたらスキューバダイビングに挑戦したいです。」とプライベートルも充実しているようです。

昨年、成人を迎えて「20年間を振り返るとあつという間でしたが、責任が今まで以上に増えることを自覚して、早く町民の人に顔を覚えてもらい、上司のようにかっこいい社会人になれるよう仕事に励んでいきます。」と決意も新たに語ってくれました。

雄武町民憲章（町民の誓い）

雄武町民わたしたちは、オホーツクのきびしい自然を生き、父祖・先人の労苦を感謝しながら、郷土愛にみちた町づくりと、ひとりひとりのしあわせのため、一すこやかに、なごやかに、まめやかに 一 励まし合い、希望と自信をもって、生きがいある生活につとめ、たしかな未来につながる信条をかかげて、朝夕守りとおすことを誓い合います。

- 一、自然を生き、住みよい環境をつくりま
- 一、きまりを守り、明るい社会をつくりま
- 一、ともに助け合い、楽しい職場をつくりま
- 一、元気に働き、豊かな家庭をつくりま
- 一、希望に生き、たくましい雄武町民となりま

昭和 46 年 3 月 19 日制定

編集後記 Editor's note

▼今月号から広報を担当することとなりました松井と申します。初めてで不慣れなことも多く、撮影やインタビューをする際も毎回緊張してしまいます。今後、取材などで皆さまのところにお邪魔する機会もあるかと思いますが、どうぞよろしくお願い致します。(松井)

▼新年度も1か月が過ぎ、「広報おうむ」にも変化が訪れました。担当が大辻から新しく松井にかわりました。しかし、私は本年度も変わらず担当いたしますので、取材などで、皆さまのところにお邪魔させていただく機会もあるとは思いますが、よろしくお願ひします。(結城)